



○キンメダイの資源管理に関する一都三県要望活動を実施

7月29日～30日、キンメダイ一本釣を主要な漁業とする「一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会」は、三重県と愛知県を訪問し、両県に対して要望活動を実施しました。

要望内容は、①同一資源を利用する者として、本協議会が取り組んでいる資源管理の内容について理解する、②広域的な資源管理の取り組みについて本協議会との間で、情報共有や情報交換を行うことのできる場を設ける、の2つで、県庁や県漁連、関係漁業者等との会議を開催し、一都三県のキンメダイに係る資源管理措置やキンメダイの生態的特徴、資源管理の課題（小型魚の保護）等について説明しました。

意見交換の場では、キンメダイの水揚げの現状について、漁法や漁場、漁獲量等について説明があったほか、一都三県の資源管理措置等について質疑応答がありました。

両県からは会議の場では、今後の資源管理への対応について明確な回答は示されませんでした。一都三県が行っている自主的管理の取組について理解し、現状の操業の中で何ができるかということについて検討していただくことを期待します。

○令和6年度キンメダイ太平洋系群の資源評価結果の公表

8月30日、国立研究開発法人水産研究・教育機構は令和6年度キンメダイ太平洋系群の資源評価結果を次の通り公表しました。

【評価結果要約】

令和5年における本系群全体の漁獲量は5,246トン、資源量推定を実施している関東沿岸から伊豆諸島周辺海域及び四国沖南方

の海山域では4,360トンであった。令和5年の資源量は37.0千トン、親魚量は29.9千トン、加入量は690万尾と推定された。

本系群の親魚量は、MSY（最大持続生産量）を実現する水準を上回る。また、本系群に対する令和5年の漁獲圧はMSYを実現する水準の漁獲圧を下回る。親魚量の動向は直近5年間（令和元～5年）の推移から「増加」と判断される。

○浜プラン・広域浜プラン達成状況（中間）に係る水産業再生委員会の開催

浜プラン・広域浜プランを目標年に向けて効果的に継続するため、国は再生委員会が毎年プランに掲げる取組を評価・分析し、PDCAサイクルによる取組の見直しや改善を行うように求めています。

これを受けて、8月から9月にかけて、プランを策定している神津島地区、三宅島地区、御蔵島地区、八丈島地区、父島地区、母島地区、東京都広域の各再生委員会が開催され、昨年度の取組を評価・分析し、取組が概ね順調に進捗していることをすべての再生委員会で確認しました。

○とさかのり入札会を開催

第2四半期も、7月から9月にかけて7回、水産物流通センターにおいて、とさかのり入札会を開催しました。産地は伊豆大島、利島で数量は7回分合計で36.9トン、落札価格は7月～8月開催分が800円～812円の範囲内、9月開催分は605円となりいずれも高値での落札となりました。

○都漁連人事異動（令和6年8月1日付）

<新規採用>

・販売課長 渡邊 瑛之

○流通センター取扱実績報告（7-9 月期）

7 - 9 月期	令和 6 年度			令和 5 年度			備 考
魚種	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (A)	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (B)	前年差(円) A-B=C
							単価前年比 (%) A/B*100
キンメダイ	133.9	246.0	1,837	165.3	267.7	1,619	218 113.5
メダイ	6.0	3.9	650	4.0	3.9	975	-325 66.7
キハダ	1.9	1.5	789	0.7	0.5	714	75 110.5
オナガ	20.7	35.4	1,710	23.1	32.8	1,419	291 120.5
ムツ	0.5	1.3	2,600	0.2	0.7	3,500	-900 74.3
その他	49.2	37.1	754	68.9	49.9	724	30 104.1
合計	212.2	325.2	—	262.2	355.5	—	—

≪編集・発行≫ 都漁連指導室
 TEL 03-3458-4236
 e-mail shidoo@tokyo-gyoren.or.jp